

特集2

うまく機能している 「認知症クリニカルパス」と 「隔離・拘束クリニカルパス」を 紹介します

「その時期にやるべきケアを明示」したクリニカルパスを作り、それに沿ってめれなく必要なことを行うという趣旨で運用すると、結果的には患者さんの回復が見えやすくなるようです。

実際にうまく機能しているという、浅香山病院の「認知症病棟」クリニカルパスと、五稜会病院の「隔離・拘束中」クリニカルパスを紹介します。